



中央図書館だより

本 どう？

Hon do?

NO.104

(令和4年12月6日発行)

特集コーナー紹介



※その他に「お正月」の絵本も
展示しています(1A)



◆クリスマス
(1A)



◆冬の絵本
(1A)



◆年末年始
お役立ちBOOK
(特設1)



◆冷え症対策
(7番棚)

■新着本紹介■

新刊の一部をご紹介します



一般書



『ノース・ジョーカーの黎明』
梶尾真治
(徳間書店)



『ブリティッシュ・ファーター』
白岩玄
(集英社)



『ふるさと球磨川
放浪記』
前川光則
(弦書房)

『お茶のすごい健康長寿力』 栗原毅 (監修) (主婦の友社)
『はじめてのパパになる本』

今田義夫 (監修) (実業之日本社)

『建築家の自邸探訪』 田中卓志 (責任編集) (扶桑社)

『徳川家康』 鷲尾雨工 (共著) (作品社)

『機械仕掛けの太陽』 知念実希人 (文藝春秋)

『老害の人』 内館牧子 (講談社)

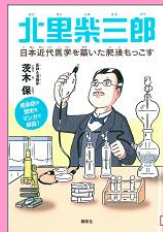
児童書・絵本



『ようかいむらの
うきうきクリスマス』
たかいよしかず
(国土社)



『みかんくんがね...』
とよたかずひこ
(童心社)



『北里柴三郎』
茨木保
(講談社)

『どんぐりころころむし』 澤口たまみ (福音館書店)

『ゆきのげきじょう』 荒井良二 (小学館)

『かんたん手づくり防災グッズ』 1~3

木原実 (監修) (日本図書センター)

『保護ねこ活動ねこかつ!』 高橋うらら (岩崎書店)

『おぼえようバレーボールのルール』

小柴滋 (ベースボール・マガジン社)

『スノーマン』 マイケル・モーパーゴ (評論社)

■中央図書館カレンダー■

※市内の新型コロナウイルスの感染状況によって、
おはなし会などのイベントは中止になる場合があります

12月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

1月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- は休館日
- ◇しあわせおはなし会 10:30~
- おはなし会 14:00~
- 古文書学習会 14:00~
- △みずのわ読書会 10:00~

【開館時間】 火~金曜9時~19時 土・日、祝日9時~17時

※12月29日~1月3日までは年末年始の休館日です


問合せ先 天草市立中央図書館
TEL: (0969) 23-7001

中央図書館開館 45 周年感謝祭 開催します！

【日時】12月11日(日) 9:00~16:00

【場所】中央図書館、複合施設こらす会議室 ABC

【内容】おたのしみ上映会、おはなし会、図書・雑誌リサイクル市など

※リサイクル市にはマイバッグをご持参ください(1人10冊まで) 

▶ 詳細はこちら



年末年始の休館日のお知らせ

天草市立図書館は12月29日(木)から翌年1月3日(火)まで休館します。中央図書館は12月29~30日は返却ポストが利用できますが、12月31日~1月3日は返却ポストが利用できません。来年の開館は1月4日(水)からです。



受賞おめでとうございます

第55回優良読書グループ
ななつの子の会



熊本県優良読書グループ
北小 絵本の読み聞かせの会



熊本県優良読書グループ
天草おやじの会



熊本県読書活動推進功労者
倉田一子さん



ふれあい読み聞かせ講演会

11月27日(日)開催。NPO法人子育て支援ワーカーズペペペらん代表の高野和佳子さんのお話に、参加者からは「今の時代だからこそ読み聞かせが大切ということに改めて気づく講演会でした」など、お声をいただきました。



リーディングトラッカー作り

集中して読書ができる「リーディングトラッカー」をクリアファイルとマスキングテープを使って作りました。家でもやってみたくて好評でした。



一▲▼12月3日・4日実施一

マルチメディアデジター図書体験会

パソコンで再生し、スピードやハイライトを変えたりして、目と耳の読書を楽しんでもらいました。「ぜひ借りたい」とのお声がありました。



まちはみんなの遊園地 in 銀天街に移動図書館車が参加

先月開催された「まちはみんなの遊園地」に中央図書館のきらきらいるか号が参加し、多くの方にお立ち寄りいただきました。お子さんの利用者もおり、幅広い世代の方に移動図書館の存在を知っていただく良い機会になりました。



健康のつどいで絵本の読み聞かせを実施

第2回健康のつどいでは、読み聞かせボランティアによる絵本の読み聞かせを実施しました。『だるまさんの』などの参加型の絵本や「キャベツのなかから」といった手遊びで、聞き手も一緒に参加しながら楽しめる時間となりました。



コラボ特設コーナー紹介

市役所などの各課との新規コラボコーナー

- ◆おいしい食事で健康づくり(健康増進課)(特設1)
- ◆12月3~9日は障がい者週間です(福祉課)(特設2)
- ◆みんなちがってみんなすてき障がい者週間 12/3~9(福祉課)(1A)

12月に入ると急に冬らしい寒さになりました。それまでが暖かすぎたせいか、気温の変化に身体がついていきません。体調を崩さないよう、急いで衣替えをしました。

今年は寒くなる前にと、年末の掃除をいつもより早めに始めた初日に洗面台の下から子どもの貯金箱を発見、掃除のお駄賃かなと思いつつ、ふと私は子ども達にきちんと金銭教育をしていたらどうかと不安を覚えました。そんな時、買っていたものの読んでいなかった原田ひ香さんの『三千円の使い方』を手に取りました。この本に登場する三世代の女性がそれぞれの人生の節目にお金と向き合い、その時にどうすれば幸せに生きていけるかを模索するお話です。文庫本の解説では垣谷美雨さんが「お金の使い方にはその人の生き方がギュッと詰まっています。財布に入っている三千円をどう使うべきかその追求は幸福の追求と同義であることが骨身にしみます。」と書かれています。こちらも読み応えがありました。

先日今年のベストセラーが発表され、『80歳の壁』が1位でした。個人的には木下龍也さんの『あなたのための短歌集』です。その中に収められた「愛された犬は来世で風となり あなたの日々をなんども撫でる」の歌に心が癒され、「ことば」の力を今更ですが実感しました。江戸時代の翻訳本では「ことば」は「かしこいもの」と訳され、明治維新後には「道」と訳されたそうです。ことばの意味は深いですね。

今年は中央図書館が開館して45年です。昭和52年本渡市立図書館として開館し、その後天草市に合併、令和2年4月こらすに移転することでさらに多くの方に利用していただける施設になりました。若松英輔著『本を読めなくなった人のための読書論』には「読書感覚を取り戻す最初の段階で、最も便利な、そして最も有効な場所が図書館・・・図書館には司書という専門職がいます。」とありました。これからも皆様に寄り添い、頼っていただける存在であり続けるよう職員一同努力してまいります。12月11日(日)は中央図書館開館45周年感謝祭を開催します。多くの皆様のご来館をお待ちしています。【文・中央図書館長】

